

	
<p>ビーチクリーナの事前対応</p>	<p>ビーチクリーナの作業風景</p>
	
<p>ビーチクリーナの回収物</p>	<p>ビーチクリーナの清掃後</p>
	
<p>ビーチクリーナの回収物の作業風景</p>	<p>作業風景</p>
	
<p>コドラート周辺の回収物</p>	<p>河口域の回収物</p>

図 27 St.5 の状況写真

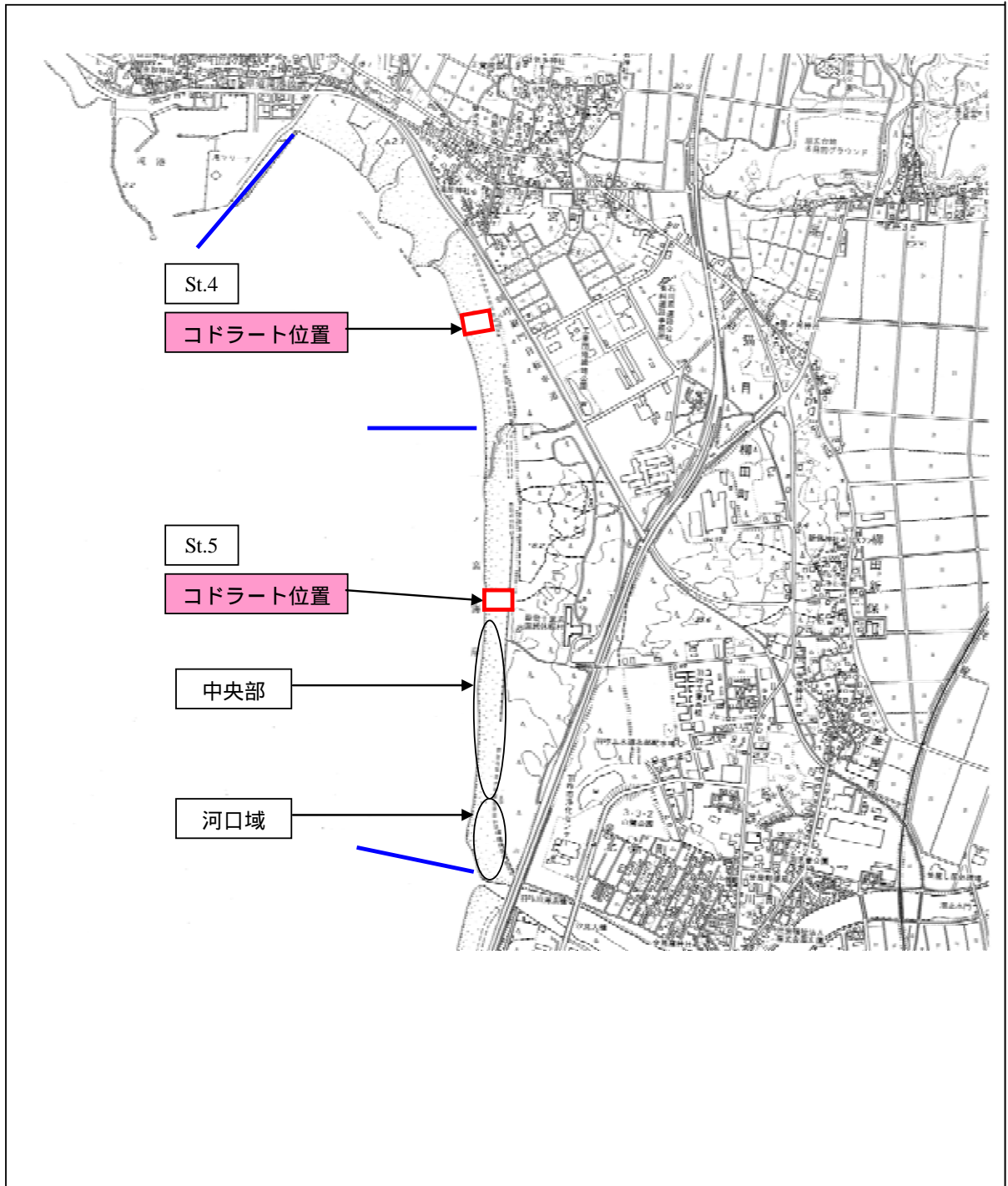


図 28 St.4、5 の調査地点の状況

(6)St.6

第4回調査

計画	<ul style="list-style-type: none">・当初計画では、作業の予定は無かったが、現地を下見した結果、回収場所からサイクリングロードの間の植物があまり繁茂してなく、通路の確保が容易であること。また、7月実施予定としていたが、夏の植物の繁茂、暑さや直射日光などを考慮すると、今回できる限り実施することが望ましいと判断した。・テーマ：磯海岸で、作業性が悪い場所である。隣接するサイクリングロードには車両の持込ができず、人力による作業効率を検討する。
結果	<ul style="list-style-type: none">・そこで、調査員4名、建設作業員5名で対応。・まず、4/18に手前から海岸に漂着した大型のフロート、魚網、冷蔵庫などの大型ゴミをサイクリングロードへ運び上げた。・途中、必要に応じて、植物の枝を刈り取り、通路を確保しながら作業した。・15:00に約3/4程度(図30参照)を終了した。作業は重労働であった。・その翌日(4/19)の午後、調査員1名、学生4名、リヤカー2台で、発泡スチロールの漁業用の大型ブイのみを、なるべく遠方のものから順次、集積場所(ペンションビーチ能登の海岸)に運搬した。・その翌日(4/20)、作業員47名、リヤカー2台に、トンパック4個、スタンダードバック10個、90Lビニール袋60袋を追加して、運搬作業を行った。・午前中は、途中の橋(リヤカーが通行できない橋)の前後で区切り、橋の奥側の橋までの運搬と、橋の手前側の運搬を2班、計3班に分けて作業することとした。午前中に8~9割の回収したゴミを搬出した。・さらに、漁協のリヤカーの借用の追加(2台)、住民の一輪車の借用(4台)などを追加して、効率を向上させた。・午後は、運搬班と回収班の2班に分けて作業することとした。・回収班は、ビン、缶、可燃ゴミを収集と指示したが、木を集める人がいたり、細かいものを收拾するなどなかなか先に進まなかった。ゴミの量も多く、作業ははかどらなかった。全体の範囲の1/4程度(図30参照)を終了した。・15:10に回収作業を終了し、回収などの残務処理をしながら戻った。・16:00、作業を終了した。・回収したゴミの量：発泡スチロール30m³、冷蔵庫13個、テレビ1個、タイヤ27本、自転車3台、ブイ等廃プラ10m³、魚網15m³、可燃ごみ10m³、木材1m³、ビン60L、缶60L
課題	<ul style="list-style-type: none">・未着手である範囲の対応を検討する(5月29日~6月2日対応)。

	
<p>ゴミの漂着状況</p>	<p>ゴミの漂着状況</p>
	
<p>ロープカッターによるロープの切断</p>	<p>大型ゴミの搬出状況</p>
	
<p>搬出した大型ゴミの状況</p>	<p>搬出した大型ゴミの運搬</p>
	
<p>搬出した大型ゴミの運搬</p>	<p>ゴミの回収状況</p>

図 29 (1) St.6 の状況写真

	
<p>搬出した大型ゴミの状況</p>	<p>ゴミの回収状況</p>
	
<p>搬出した大型ゴミの運搬</p>	<p>ゴミの回収状況</p>
	
<p>回収物 (魚網、ドラムカン、冷蔵庫、タイヤなど)</p>	<p>回収物(可燃ゴミ、 発泡スチロールのフロートなど)</p>

図 29 (2) St.6 の状況写真

(7)St.7

第4回調査

計画	<ul style="list-style-type: none">・人数と日数：作業員 5 名×1 日・テーマ：磯海岸で、作業性が悪い場所である。隣接するサイクリングロードには車両の持込ができず、人力による作業効率を検討する。
結果	<ul style="list-style-type: none">・4/18、建設作業員 5 名、4 時間程度で、ロープと流木の切断を行い、冷蔵庫やタイヤなど大型ゴミのサイクリングロードへの搬出を行った。・4/21、調査員 4 名でロープ、丸太等の運び出しを行った。建設作業員 2 名は、枝・根付の流木の切断処理を行った。約 1 時間半で終了した。
課題	



図 30 St.7 の状況写真